

住んで良かったと思えるまちをめざして

---

---

## 第13次 比布町

### まちづくり計画

---

---

基本構想 2024 ⇒ 2033

基本計画 2024 ⇒ 2028



世界一大雪山がきれいに見える町・スキーといちごのまち

北海道 比布町

## 「住んで良かったと思えるまち」をめざして



平成 31（2019）年 3 月に第 12 次比布町まちづくり計画を策定し、基本構想に沿った基本計画に基づき、計画的にまちづくりを進めてまいりました。

このたび、まちづくり計画の終了年度にあたり、比布町総合振興審議会の答申を受け、まちの将来像「住んで良かったと思えるまち」を実現するための第 13 次比布町まちづくり計画（令和 6（2024）年度～令和 15（2033）年度）を策定する運びとなりました。

本計画の策定にあたっては、町民の皆さんによる「ワークショップ」、子育て世代及び移住者の皆さんや各団体との「ぴっぷ未来会議」などを実施し、町民の皆さんの声を計画に反映するとともに、少子高齢化の進行や経済・情報のグローバル化、環境問題やデジタル化などの社会経済情勢の変化と、第 12 次まちづくり計画で進めてきた比布町におけるまちづくりの進展に合わせて、これからのまちづくりに必要となる施策について検討を重ねてまいりました。

私たちの比布町は、先人が拓かれた肥沃な大地を礎に、多くの困難を乗り越えながら 130 年の歴史を積み重ね、しっかり地に足を付けて生きていく道の新たな一歩を踏み出そうとしています。

今後も、人口は減少していくという事実を受け入れ、地域で支えあう福祉や子育て環境の充実、暮らしやすい住環境の実現、地域経済の活性化などの課題解決に向けて力を注ぎ、町民、団体、企業、行政の協働によって、「生涯住み続けたい」と思えるまちをめざし、移住を希望される方が「住んでみたい」と思えるまちの実現に向けて、引き続き皆さんとまちづくりを進めてまいります。

最後になりましたが、熱心な議論のうえ、答申をいただきました総合振興審議会の皆さんをはじめ、町民ワークショップ等で貴重なご意見をいただきました多くの皆さんに心より感謝を申し上げますとともに、町政への一層のご理解とご参画をお願いいたします。

令和 6（2024）年 3 月

比布町長 村中一徳

## 位置・地勢・気候

比布町は、北海道のほぼ中央、上川盆地の北部に位置し、眺望が美しい大雪山連峰を東南に仰ぐ自然豊かな町で、総面積は 86.90 k m<sup>2</sup>、東南部は石狩川をもって当麻町に、西南部は中核市旭川市に、東北部は山林地域を介して士別市・愛別町・和寒町にそれぞれ隣接しています。

地勢の特徴は、山林地域が総面積の約半分を占め、その他は概ね平坦でまとまりの良い地形になっています。大雪山系の山々を源にする石狩川が東南側町界を流れることで、その一帯は地味肥沃で良質米生産に最適な土地柄です。

気候は、平坦な盆地である地形から、内陸型で四季折々の自然風景が保たれ、夏の気温は 30℃ を超え、冬にはマイナス 15℃ を下回る等、寒暖の差が大きく、例年 11 月下旬から 12 月上旬に根雪となり、平地で 1 m 以上の積雪をみることもあります。



## 町章

昭和 45 年 5 月 13 日に制定され、比布町の「比」を図案化したもので、二つの交わりは町民の融和と団結をあらわし、底辺のふくらみは豊かなまちを示し、上に広がる 4 本の手は比布町の限らない発展を意味しています。



## 開拓とその歴史

明治 28 年、当時鷹栖村に属していたピップ原野は、「殖民区画制度」による貸付けが行われることを知った滋賀県団体（下田団体）が近文のアイヌの人たちに案内を依頼し、開拓が始まりました。

時を同じくして、香川県（讃岐団体）、愛媛県（伊予団体）からの団体移住があり、これら 3 団体による区画測定が完了し、現在の比布町が生まれました。

以後、稲作農業を基幹産業として発展し、令和 6（2024）年に 130 年の節目を迎えました。

## 交通

交通は、縦横断する国道 40 号と南北を JR 宗谷本線が最短で通過し、北海道の中核市旭川市とは 17 k m で結ばれているほか、4 本の道道や広域農道等の整備により、近隣町とは 15 分程度で、また、旭川空港とは 40 分程度と至便な交通条件を有しています。

また、高速交通の要衝として平成 12（2000）年に供用が開始された北海道縦貫自動車道は、現在、士別剣淵 IC まで開通し、その後も部分的に供用が開始されています。

さらに、高規格幹線自動車道が比布 JCT を経由して比布北 IC から遠軽町まで開通しています。

## 町の木・町の花

### 【町の木】 ななかまど



[昭和 44 年 10 月制定]

### 【町の花】 すいせん



[昭和 44 年 10 月制定]

開道 100 年を記念して、昭和 43 年 5 月に町樹町花制定委員会を設け、町民からの応募をもとに審議された結果、町民の自然愛と郷土の豊かさを象徴するものとして翌 44 年 10 月に「ななかまど」と「すいせん」を制定しました。

「ななかまど」の由来である 7 回かまどに入れても灰にならない強靱性、「すいせん」は、北海道の厳しい風雪に耐えて根を張り、花を咲かせる忍耐強さが、町民のシンボルにふさわしいものとして選定されました。

## 町民憲章

[昭和 37 年 6 月制定]

わたくしたちは、比布町の町民であることに誇りと責任を感じ、この憲章を掲げて平和で住みよい比布をつくることに努めましょう。

- 一、元気で働き、楽しい家庭をつくりましょう。
- 一、親切をつくし、あたたかい社会をつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るい町をつくりましょう。
- 一、自然を尊び、きれいな環境をつくりましょう。
- 一、文化を育て、豊かな郷土をつくりましょう。

## 【目 次】

### 第1部 はじめに

#### 第1章 計画策定にあたり

1 計画策定の趣旨	2
2 まちづくり計画の役割	3
3 まちづくり計画の構成と期間	4
4 まちづくり計画の策定方法と施策評価	4

#### 第2章 新たなまちづくりに向けて

1 まちの特性	5
2 まちを取り巻く社会・経済動向	6
3 町民ワークショップ等による交流・意見交換	7

### 第2部 基本構想

#### 第1章 まちの将来像

1 まちの将来像	10
2 人口の見通し	10

#### 第2章 まちづくりの基本目標

1 「育」(子育て) 子どもたちの成長を支えるまちづくり	13
2 「職」(しごと) 働く人を応援するまちづくり	13
3 「住」(住まい) 快適に住み続けることができるまちづくり	14
4 「安」(安全・安心) 安心して暮らすことができるまちづくり	14
5 各基本目標の達成を確実なものにするための基盤的な取組み	15

### 第3部 基本計画

#### 第1章 「育」(子育て) 子どもたちの成長を支えるまちづくり

1 町民ワークショップ等による意見の概要	18
2 施策	19

#### 第2章 「職」(しごと) 働く人を応援するまちづくり

1 町民ワークショップ等による意見の概要	22
2 施策	24

#### 第3章 「住」(住まい) 快適に住み続けることができるまちづくり

1 町民ワークショップ等による意見の概要	27
2 施策	28

#### 第4章 「安」(安全・安心) 安心して暮らすことができるまちづくり

1 町民ワークショップ等による意見の概要	29
2 施策	31

#### 第5章 各基本目標の達成を確実なものにするための基盤的な取組み

[住民参画・人材育成・男女共同参画・行財政]	34
[情報発信]	36
[ゼロカーボン]	37
[DX(デジタルトランスフォーメーション)]	38

資 料	39
-----	----